

## 平成26年度稲毛海岸地区区民対話会 議事要旨

- 1 日時 平成27年1月11日(日) 10:00～11:50
- 2 場所 稲浜公民館2階 研修室
- 3 参加者 区民 23名、区職員4名  
(参加区民の所属団体)  
第38地区町内自治会連絡協議会、社会福祉協議会稲毛海岸地区部会、  
第601地区民生委員・児童委員協議会、稲浜中学校区青少年育成委員会、  
稲浜小学校地区スポーツ振興会、稲毛第二小学校地区スポーツ振興会、  
老人クラブ(いなはま和楽、稲毛海岸3丁目さつき会、  
美浜区稲毛海岸4丁目さくら会、稲毛東映マンション寿クラブ)  
稲浜中学校保護者と教員の会、稲浜小学校保護者と教師の会、  
稲毛第二小学校PTA
- 4 テーマ 地域の将来像と担い手

### 5 議事内容

(1) 開会及び参加者自己紹介

(2) 区長講話

配布資料により、地域コミュニティ及び稲毛海岸地区の現状について説明。

(3) 意見交換

主な意見は以下のとおり。

#### ■担い手の確保

- ・保護者会の役員は輪番制で、子供がいれば必ず回ってくる。そこが地域参加のきっかけになるのではないか。役員になった際、何をすればいいのかわからず不安になる。仕事内容ややるべきことが明確になると参加しやすい。
- ・子供を持つ世帯は、仕事や家庭のことで手一杯で、保護者会や地域の活動に参加する余裕がない。時代とともに仕事の内容が複雑化する傾向にあり、10年先20年先は、より地域活動に手が回らないのではないか。社会的な問題を緩和しないとこの傾向は続く。

- ・私の自治会は、加入率は高いものの、担い手の高齢化により活動維持が困難になってきている。行事を行っても若手の担い手が足りない。これに対して、昨年、若手の団体を立ち上げてもらい、自治会と共同で行事を行うようにした。また、稲浜中学校を拠点にしているサッカーの NPO とも地域の活性化について相談している。
- ・育成委員会の役員は、学校や育成委員会のみではなく、地域全体を見ながら活動できる人をお願いしたい。
- ・団地の居住者が全体的に高齢化しており、団地の自治会のみでの行事開催は担い手が確保できない。近隣の自治会との共催で行事を行うことで、多くの担い手や参加者が来てくれている。
- ・担い手の確保は、上から役員をやれと言うのではなく、まずは行事に参加し楽しんでもらい、それをきっかけとして地域活動に参加してもらうことが有効だ。
- ・役員の担い手が課題となっているが、敬老会でも若い方が手伝いをしてくれるし、学校の保護者をお願いすると行事に出てくれることもある。地域の行事に取り込んで、それをきっかけに参加してもらえばよい。地区のまとまりはあると感じている。

#### ■住民の地域参加

- ・新しいマンションには自治会がないところもある。自治会は身近なところでみんなと一緒に地域をよくしていく活動を行う場。これがあれば、その他の地域活動も自発的な参加が進むのではないか。
- ・私が加入する自治会の夏祭りは、非加入者にも準備等から参加してもらっており、それを勧誘する機会としている。
- ・自治会会員には、祭りで使用できる引き換え券を発行しており、これをきっかけにして自治会に加入する世帯がある。
- ・区にお願いだが、自治会に入るべきか問い合わせがあった場合に、簡単に「自治会加入は任意」と答えるのではなく、「入ってください」と答えてほしい。
- ・自治会の結成をすすめるためには、その地域の住民とのコミュニケーションが大事。地域の行事等で接するたびに、自治会を結成しないかと勧誘している。
- ・私のマンションは比較的新しく、当初は自治会がなかったが、近隣自治会の夏祭りや運動会に参加するために自治会を結成した。現在の加入率は 60%程度。管理組合の役員に自治会を兼務してもらうことにし、その間は自治会に加入してもらっている。役員退任時は自治会を脱会することもできるが、脱会者はゼロ。自治会非加入者には、加入方法も自治会活動内容も知らない人が多いので、まずは興味を持ってもらう方針で活動している。

- ・様々な地域団体への住民の理解が不足しているのではないか。自治会への加入は任意ではあるが、住んでいる以上入るべきものだと思う。地域住民が協力し合い、住んでよかったと思えるよう連携していくことが重要だ。

#### ■各団体の活動

- ・学校の保護者会の活動にも参加者が少なく困っている。役員になって、地域とのコミュニケーションの重要さに気付くことができた。
- ・私の自治会では、赤い羽根等の募金を集めるため、役員が各戸を訪問している。いちいち訪問せず自治会費から募金を出せばとの意見もあるが、地域のつながりを強めるためにも、各戸を回り住民が触れあう機会があった方がよいと考えている。
- ・高齢者の中でも、80歳、90歳といった特に高齢の方が多く、地域で対応すべき課題は増えると感じている。高齢者が住んでよかったと思えば、子供たちも同じように思うはず。そうなるよう活動を続け、様々な行事にかかわっていきたいと思っている。
- ・旅行など老人クラブの活動に参加するよう声をかけてはいるが、以前より参加者が少なく困っている。出不精な高齢者が増えたように感じる。参加者は、女性の方が多。
- ・老人クラブでも、高齢者が若い人を助けるような活動ができればいいと考えている。
- ・民生委員は、行政やあんしんケアセンターから依頼を受け、地域住民と行政等とのパイプ役を担っている。しかし、行政等につないだ後どうなったかの報告がなく、地域住民から質問されても答えることができない。  
→（保健福祉センター所長）今後、あんしんケアセンターの対応も含めて、結果を報告するようにしたい。

#### ■課題、要望

- ・あと10年もすれば、この地区の団地は建替が進み人口はさらに増えるはず。それも反映した人口推計を見通し、適切な施策を行ってほしい。
- ・地域に密着した商店街が少なくなっていると感じる。地域の活性化のためにも商店街の活性化は重要であり、振興策が必要ではないか。
- ・近隣に空港が2つあるため、航空機の音でエアコンがないと学校で快適に勉強することができない。予算を確保し、各学校にエアコンをつけてほしい。

#### (4) 閉会